

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者： （ 1 組：高橋 ） （ 2 組：青木 ） （ 3 組：青木 ） （ 4 組：青木 ） （ 5 組：青木 ） （ 6 組：青木 ）
 使用教科書： （ 最新情報 I 新訂版（実教出版） ）

教科 情報 の目標： 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見し、情報社会と人との関わりについての理解を深めるように
 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報を適切かつ効果的に活用する力
 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標： 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 情報社会の現状について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。	・授業の受け方、アンケート ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 1 情報と情報社会 2 情報と社会の発展 3 情報技術が築く新しい社会 4 情報の特性 5 情報のモラルと個人に及ぼす	【知識・技能】 ・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができる。 【思考・判断・表現】 ・アプリケーションで作成したファイルを保存することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・PC教室のルールを理解している。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 知的財産権について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 他人の著作物を適切に利用したりする方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個人情報について理解する。	2 知的財産と個人情報 1 知的財産 2 情報の利用と公開 3 個人情報の保護と管理 4 サイバー犯罪とその対策 ワープロソフトを活用した実習 Word入力のいろいろ	【知識・技能】 ・ファイルを共有フォルダに保存することができる。 【思考・判断・表現】 ・情報社会と人間との関わりについて考え、理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネット等で調べられる。	○	○	○	9
	C 単元 【知識及び技能】 メディアの発達について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたメディアを選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。	1 メディアとコミュニケーション 1 メディアの機能 2 メディアの特性 3 コミュニケーションの形態 4 インターネット上のコミュニケーション ワープロソフトを活用した実習 情報リテラシー「Word」	【知識・技能】 ・伝達する情報に応じて情報メディアを選択して表現することができる。 【思考・判断・表現】 ・メディアを用いてコミュニケーションを図ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々なメディアを分類することができる。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 情報デザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を正確に、わかりやすく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書を作成するための手順について理解する。	2 情報デザイン 1 社会の中の情報デザイン 2 情報デザインの工夫 ワープロソフトを活用した実習 情報リテラシー「Word」	【知識・技能】 ・ユーザインタフェースを改善できる。 【思考・判断・表現】 ・目的に沿って、情報を視覚化したり配色を考えて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文字や図、表やグラフなどを工夫して表現する学習活動を自ら進んで行える。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 音声のデジタル化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報のデータ量について理解する。	第3章 情報のデジタル化とコンピュータ 1 情報のデジタル表現 1 デジタルと情報量 2 数値と文字の表現 3 音の表現 4 静止画と動画の表現 5 データ量とデータの圧縮	【知識・技能】 ・デジタルと情報量を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・情報機器を相互に接続するためのインタフェースの仕組みを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・静止画と動画の表現やデータ量とデータの圧縮を理解できる。				6
	B 単元 【知識及び技能】 ネットワークを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報通信の仕組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 Webページについて理解する。	第5章 情報通信ネットワークとセキュリティ 1 情報通信ネットワーク 1 ネットワークの構成 2 情報通信の仕組み 3 インターネットの仕組み 4 Webページとメールの仕組み 5 転送速度と誤り検出	【知識・技能】 ・インターネットの仕組みを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・ネットワークを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・Webページとメールの仕組みを理解する。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 安全対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報セキュリティを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	2 情報セキュリティ 1 情報セキュリティの脅威と対策 2 安全のための情報技術 情報リテラシー「Excel」	【知識・技能】 ・コンピュータウイルスなど、被害の実態について理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報セキュリティポリシーの必要性を感じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・パスワードを設定することができる。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 安全対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	3 情報システム 1 社会の中の情報システム 2 情報システムの活用 3 データベース 情報リテラシー「Excel」	【知識・技能】 ・社会の中の情報システムなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・データベースの必要性を感じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・パスワードを設定することができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 データを収集について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの活用方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 データを適切なグラフや図に表現する。	問題解決とその方法 2 データの活用 プレゼンテーションソフトを 活用 した実習 PowerPoint	【知識・技能】 ・表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出などができる。 【思考・判断・表現】 ・表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の目的に応じて、表現できる。	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 プログラムの表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミング言語を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 関数を使用したプログラムを作成する。	プログラミングの方法 マクロの作成 マクロの記録 を用いて、マクロを作成	【知識・技能】 ・関数を使用し、簡単なプログラムを作成することができる。 【思考・判断・表現】 ・簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラミングの手順を理解している。	○	○	○	5
合計							70